

明日をともに考える 笑顔の一行詩

本市は男女共同参画宣言都市です。今年度は、性別による固定観念や無意識の思い込みにとらわれずに、個性を認め合う多様性に富んだ社会、互いに喜びや責任を分かち合い、誰もが自分らしく輝ける社会の実現に向けて「誰もがいきいきと笑顔で輝けるまちへ」をテーマにして一行詩を募集したところ、全国から1,748点の作品が寄せられました。数々の力作の中から審査を経て入賞作品が決定しましたのでご紹介します。(敬称略)

また、今回の入賞作品を10月29日(金)まで市役所1階ロビーで展示し、入賞作品を載せたカレンダーを市役所、各公民館および各図書館で配布しています。 園市民活動推進課 (☎ 82-1137)

最優秀賞 **ないようであった思い込み 認めていたようで否定していた
多様性 気づいた私は新しい** 徳島県阿南市 澤田 典子

【選評】自分の中に巣くう偏見を素直に認め、そこからグイっと心の向きを変える姿勢が鮮やかに表現されていて、潔さと力強さを感じます。 【想い・エピソード】自分にはないと思っていた差別に繋がる思い込み。認めているようで、そうではなかった多様性。人から指摘されたときは驚くしました。でもそこから新しい私が始まったように思います。視野が広がり自分自身も楽に生きられるようになりました。

優秀賞

たった一つの笑顔 たった一つの言葉 これだけで頑張れる時がある
宮崎県児湯郡高鍋町 日野 秀子

普通だと みんな言うけど 本当は 普通なんて どこにもない
小野田中学校 吉田 遙 姫

入選

優しさは分けっこしたって減ったりしない 広島県福山市 まろん ママ

自分には ちょっと苦手な あの人も 他の誰かの 大切な人 竜王中学校 山 縣 大 丸

肌の色 目の色だけを見てないで 見えない心も見てあげて 小野田中学校 末 廣 千 晴

誰もみな 持ってる意見は 違うけど “わたし”は“あなた”を 否定はしない
東京都大田区 む ー む ー

離れても 「誰か」と生きる 私たち きっと前よりも 助け合えてる 神奈川県川崎市 小和瀬 茉莉

これまでの 当たり前って 何だろう 未来の為に 今を動かせ 厚狭高等学校 杉 村 優 斗

ありのままの自分が 受け入れられる世界 ありのままの自分で 居たいと思える世界
サビエル高等学校 畠 山 千 佳

特別賞

認め合う 誰かの自信に変わるから あなたの声で 伝わるもの サビエル高等学校 米 原 希 華

その一歩 あなたの力が 未来を変える ともにつなごう 笑顔のバトン 小野田高等学校 山 下 遥 叶